

# 昭和大学形成外科 研修プログラム

## はじめに

当教室は1968年7月1日に鬼塚卓彌名誉教授が設立し、その後2代目の保阪善昭名誉教授を経て、3代目の吉本信也教授へと受け継がれ50年の歴史を有する形成外科学の独立している教室です。

当教室の入局者は現在までに240人を超え、輩出した専門医の数は208人であり、全国の形成外科専門医の約1割を占める数となっています。また特に昭和大学の形成外科と言えば口唇口蓋裂の症例数で有名です。

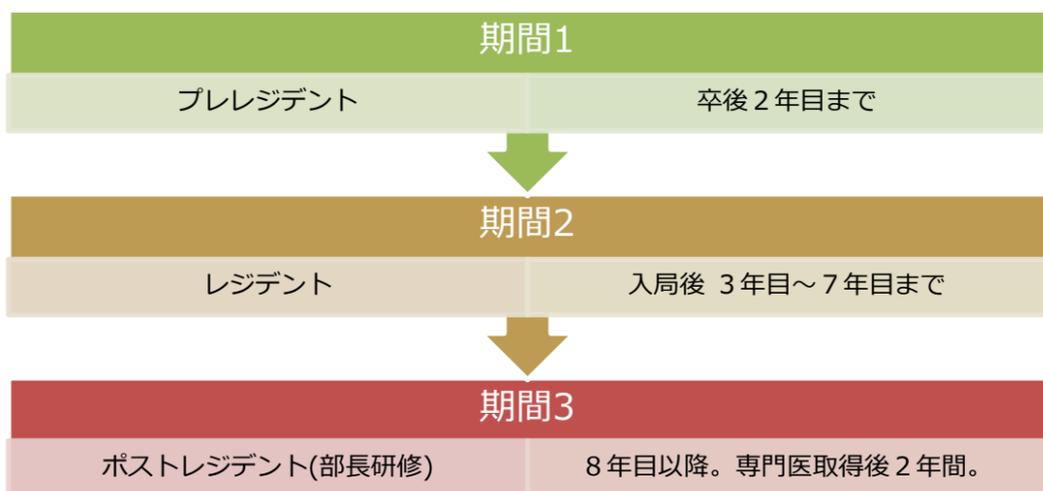
関連施設が多いことも特筆すべき点であり各地に広がる昭和大学のネットワークにより各地の基幹病院に症例が集まります。当教室に入局された先生方にはそれらの関連施設で研鑽を積んでいただくことになります。

そのほか大学の医局では常に海外からの留学生を受け入れており、国際色豊かな環境と言えます。

## 《研修プログラムについて》

当教室では研修期間を3つの期間に分けて考えています。

### 《各期間の詳細》



#### プレレジデント期間 : 卒後2年目まで

臨床研修医、医学部生を対象とした見学会を随時行っています。希望者には月・水・金で行われている各講師陣による昭和大学の学生向けの講義に参加することも可能です。昭和大学病院の研修医を選択した場合は、研修期間中から形成外科を最低1ヶ月以上研修期間に割り当てることが可能です。また年に数回は豚皮・を用いた縫合、マイクロサージャリー、顔面骨骨折治療のハンズオンセミナーを開催しておりますので振るってご参加ください。

#### レジデント期間 : 卒後3年目～7年目まで

当教室では約50の関連施設を有しています。

その時の入局者の状況にもよりますが、およそ1年おきに施設を異動して頂き顔面骨骨折の多い施設、先天性疾患の多い施設、熱傷治療を得意とする施設などを回ることで、最低年数で容易に専門医を取得できるという大きなメリットを有していることも当教室の特徴です。

研修施設では専門医取得に必要な症例が十分に準備可能です。

当教室の過去5年間における専門医合格率は95% (38人/40人) です。

尚、7年目で症例が足りず資料を揃えることが出来ないために受験資格を得られなかった教室員は皆無です。

#### ポストレジデント期間 : 卒後8年目以降、専門医取得後2年間。部長研修。

各地の関連施設で部長研修やそれに準じた研修を行います。一般形成外科、先天奇形、マイクロサージャリー、クラニオフェイシャルサージャリーなどその後の専門性を持つために必要な手技や、病院内に置ける形成外科医の役割、マネージメントの方法等を学んで頂きます。